

# 3rd Predoctoral Symposium for Front-Line Scientists

## 開催趣意書

謹啓

日本薬物動態学会は、学術年会を通して様々な枠組みの研究者同士で活発に議論をする場を提供することで、薬物動態学領域の基礎・応用研究の推進に大いに貢献して参りました。長年、日本の薬物動態研究の牽引に寄与してきた同学会の活動に若手研究者が積極的に携わることは、若手研究者の研究推進能力の向上並びに日本薬物動態研究の発展に須要であると考えています。しかしながら、学術年会において若手研究者が積極的に議論する光景を目の当たりにする機会は年々乏しくなっているのが現状です。これは未来の薬物動態研究の開拓を妨げ得る深刻な問題と考えています。

こうした現状を打開すべく、日本薬物動態学会 第32回年会（2017年11月29日～12月1日）においても、第3回学生主催シンポジウム（3rd Predoctoral Symposium for Front-Line Scientists）を企画する運びとなりました。本シンポジウムは第1回学生主催シンポジウム（2015年11月 船堀）、第2回学生主催シンポジウム（2016年10月 松本）に引き続き、未来の薬物動態学の発展を担う若手研究者の講演能力とディスカッション能力の向上ならびに若手から研究推進の原動力を生み出すことを趣旨としています。例年、ADMEの各分野から公募によって選出された若手研究者の講演に加えて、薬物動態研究を牽引されてきたスペシャリストの先生方の教育講演を行っております。第1回、第2回共に若手研究者の所属の枠を超えた活発な議論及び交流がなされ、盛況のうちに閉幕いたしました。

記念すべき第3回目である本シンポジウムをさらに活発にすべく、今回は初の試みとして、演題応募資格並びに演題募集分野の拡張を行う予定です。演題応募資格の拡張は、例年の《博士号取得前の大学院生および博士号取得前の企業研究者》に《学部生》を追加し、演題募集分野の拡張は、例年の《ADME》の各分野から Toxicity を加えた《ADMET》の異なる各分野から演題の選出を行います。今後の薬物動態の研究を担う上で切り離すことのできない Toxicity を加えることで、若手研究者が自身の研究を薬物動態研究全体から顧みる機会を提供できると考えています。また、より先の次世代を担う学部生に対しても門戸を開くことで、若手の更なる研究推進への一助となることを期待しています。

同年代の研究者が自由闊達に議論及び交流をすることによって研究推進能力及び研究意欲を向上し、将来の薬物動態学領域を担う人材へと成長することに繋がると考えています。まだ若い学生主催シンポジウムではございますが、今後も若手研究者が活躍できる場を継続していくことで、最終的には若手研究者全体が日本薬物動態学会の主軸の一つとなることを確信しています。

最後に、学会員の皆様におかれましては、本シンポジウムの趣旨を御理解頂き、演者若しくは聴講者として御参加賜りますようお願い申し上げますとともに、本シンポジウムを日本薬物動態学会の活性化に是非繋げて頂きたいと存じます。何卒宜しくお願い申し上げます。

謹白

平成29年4月吉日

学生オーガナイザー 名古屋市立大学大学院 薬学研究科 小野里 太智  
長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 徳永 彩子  
東京薬科大学大学院 薬学研究科 宮崎 歌織

【募集内容と採択までの流れ】

応募資格：日本薬物動態学会の会員で、博士号取得前の学部生・大学院生および博士号取得前の企業研究者  
※企業研究者の方は30歳までの方を対象とさせていただきます。

テーマ：「次世代医療の未来を担う薬物動態研究」

発表時間：

《学部生》発表10分＋質疑応答3分

《博士号取得前の院生・企業》発表16分＋質疑応答4分

発表方法：一般演題の方法に則ります。(口頭発表)

発表言語：日本語

討論言語：日本語

募集期間：指定のフォーマットを使用し、4月17日(月)～6月19日(23:59ㄨ切)までにメールにて長崎大学大学院 徳永 (bb55316403@ms.nagasaki-u.ac.jp) に送付してください。

(送信できない場合には、名古屋市立大学大学院 小野里 (zatto0515@gmail.com) に送付してください)。

選考期間と採択可否の通知：募集期間終了後、2週間以内に応募者全員に通知させていただきます。

採択者数：学部生枠で1枠程度(薬物動態にかかわる分野から)、博士号取得前の院生・企業枠で5枠程度(ADMETからそれぞれ一分野ずつ)、計5-6演題を予定しております。

注意事項：演題の選考は一般演題の募集期間終了(7月31日)前には完了しますので、選考に漏れた場合は一般演題への応募をお願い致します。また、採択された演者の方には後日、年会ホームページにて英語による要旨の提出をお願い致します。なお、採択された場合には、年会参加費とミキサー参加費が無料(学部学生は元々年会参加費が無料であるため、ミキサー参加費のみ無料)となります。